

1. 現況値

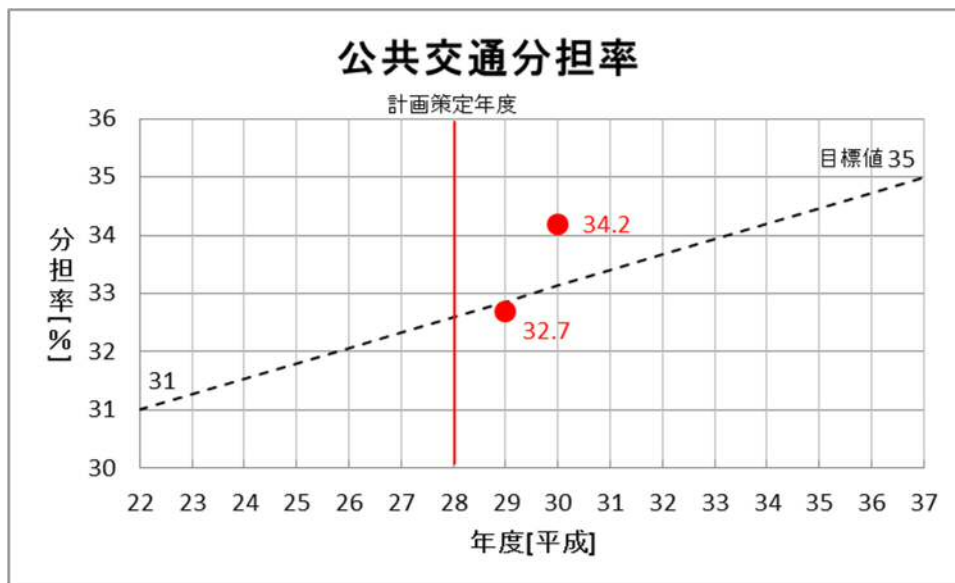
指 標	当初値	進捗	目標値
目標1 まちづくりの方針をふまえた公共交通ネットワークの維持・充実			
公共交通分担率	31% (平成22年)	34.2% (平成30年度)	35% (平成37年)
目標2 都市の魅力を高める公共交通ネットワークの形成			
都心・観光地での交通手段利用割合 (公共交通および徒歩・自転車の利用割合)	68% (平成27年)	68.5% (平成29年度)	75% (平成37年)
目標3 地域のくらしを支える公共交通ネットワークの形成			
地域コミュニティ交通導入の支援地区数	4地区 (平成27年)	計10地区 (平成28～30年)	計30地区 ※ (平成28～37年)
目標4 安全・安心で誰もが利用しやすい交通環境の形成			
ユニバーサルデザインの推進 (鉄道車両の車内・車外案内表示 の多言語化(市内で完結する路線))	35編成 (平成27年)	42編成 (平成30年)	70編成 (平成37年)
バス停留所のベンチ新設数	60基 (平成27年度)	計99基 (平成28～30年)	計500基 ※ (平成28～37年)

※平成 28 年度から平成 37 年度までの累計数

2. 進捗状況

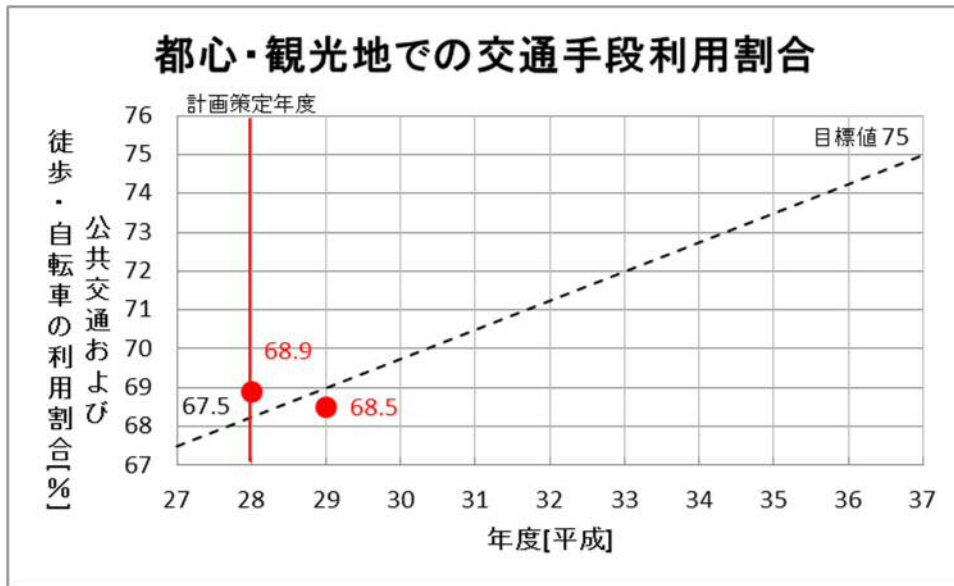
■公共交通分担率

- ・H29 年度に実施した WEB アンケート調査をもとに、H22 年度に実施した近畿圏 PT 調査結果を補正し、現況の交通手段分担率を算出する。



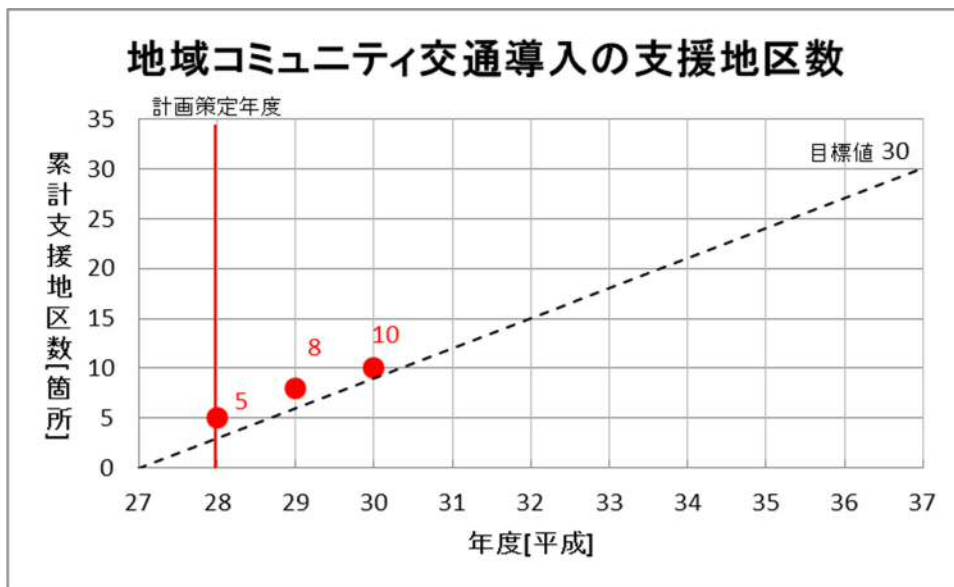
■都心・観光地での交通手段利用割合

- ・神戸市経済観光局の実施する観光動向調査をもとに、都心・観光地における公共交通および徒歩、自転車の利用割合を算出する。
- ・なお、観光動向調査の結果が公表されるのは調査実施年度の次年度となる。



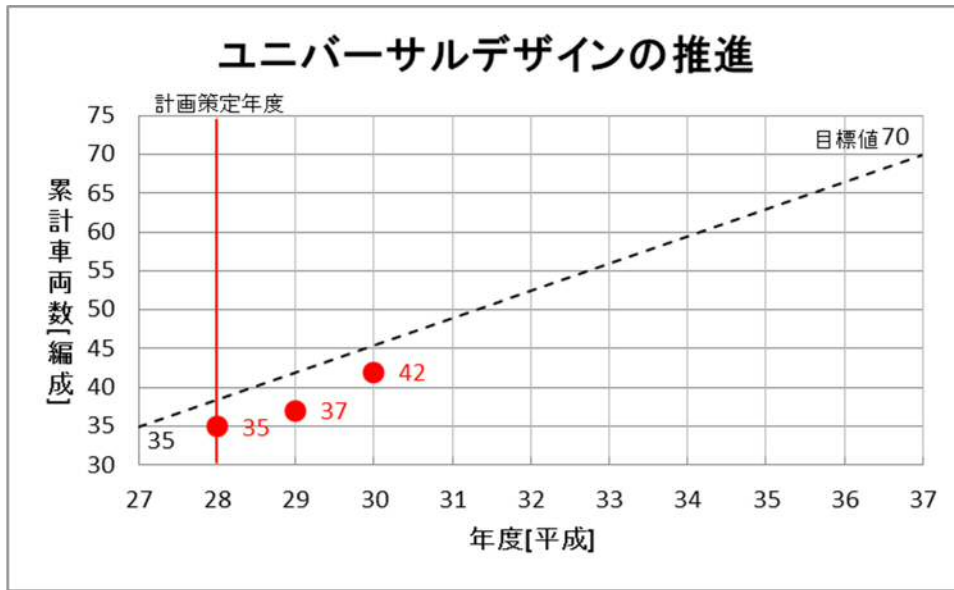
■地域コミュニティ交通導入の支援地区数

- ・平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間で 30 箇所での支援を目標。



■ユニバーサルデザインの推進

- ・平成 37 年度までに 70 編成の UD 化を目標。



■バス停留所のベンチ新設数

- ・平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間で 500 基のベンチ設置を目標。

